

平成27年度 事業計画

I 方針

昨今のアベノミクスによる円安効果は、自動車や家電等の輸出産業が引っ張るかたちで景気の回復を確実なものとしています。また観光産業も追い風を受け、中国をはじめ東南アジアからかつてない多くの人々が関西を訪れ、賑わいを見せています。しかしながら足元では、北陸新幹線の開業やリニア計画で、東京一極集中が加速し、関西経済の停滞が懸念されるところです。

関西・大阪が持続的な発展を維持していくには、諸外国との交易、とくに歴史的に強い繋がりのある中国や韓国との交流を深めることが大事であります。また、かつて日本経済の成長の基盤を築いた関西企業の業績を再確認し、新たな成長への方途を考えていくことも大切です。

今年度大阪国際フォーラムでは、中国と韓国との民間交流事業や、グローバル化が進む時代における日本的な経営を考えるフォーラムの開催を企画します。また、恒例の中之島国際音楽祭の開催や、外国人向けの英語版「中之島今昔案内」を発刊してまいります。

II 事業の実施に関する事項

(1) 中国交流事業

高齢化が進む日中間で、「医療・高齢者福祉における課題と相互の協力（仮題）」をテーマに医療関係者や福祉施設関係者による意見交換とシンポジウムの開催を企画する。

大阪国際フォーラムでは、交流のある南京医科大学等や中国医学関係者と医療分野で世界の最先端を行く関西の大学医学部関係者との連携を深めるために尽力し、民間による日中交流の一端を担ってまいります。また、日本における高齢者介護の実情、施設を紹介するなど施設の視察を通しての福祉事業の交流も目指していきます。

(2) 韓国交流事業

日韓国交50年の節目にあたることから、今後の文化交流の道を探るとともに、中之島国際音楽祭に韓国のアーティストを招聘し、交流を深めてまいります。また、ユネスコの無形文化遺産となった「和食文化」と「キムジャン文化」を通しての相互交流につながる事業についても検討を進めてまいります。

(3) 地震予知研究国際フォーラムの開催

この20年間で阪神・淡路、東日本の大震災が起こり、近くは又、南海トラフ巨大地震が起こる可能性が高まってきていると想定されています。国や自治体では、被害の規模を何度も想定し直しながら防災事業や避難訓練が行われ、災害を最小限に食い止める施策が進められています。

しかしながら、大災害を防ぐための「地震の発生を事前に予知する」研究やその成果について、関係機関からの主だった発信がなされていないのが現状です。

当フォーラムでは、関西サイエンスフォーラム等との共催で、過去2回にわたり、地震予知の現状と電磁波を活用した前兆現象等の成果について、国際フォーラムを開催し、発表してまいりました。今年度も引き続き、研究成果の進捗状況等の発表と意見交換を行う国際フォーラムの開催に向けて取り組んでまいります。

(4) これからのアジア諸国との連携

ヒト、モノ、カネの急速なグローバル化が進むなか、また中国・韓国との政治的緊張関係が高まっている今こそ、日本は中韓を含めたアジアの近隣諸国との民間をベースにした文化や経済の新たな連携の枠組みを模索する時期にきています。

当フォーラムでは、大学やマスコミとの共催により、アジアとの交流の現状や、次世代の文化や経済の連携、交流のあり方について研究をしてまいります。

(5) 経営フォーラムの開催

グローバル化が加速する経済活動は、一方では不安定な雇用や格差の広がり、さらに環境問題をかかえております。こうしたなかで、日本が持続的発展を続けていくために、かつて世界をリードした「日本的経営」に改めてスポットを当て、グローバル化世界に対応した新たな経営戦略について議論を行うべくフォーラムを開催し、提言をしてまいります。

(6) 中之島国際音楽祭の開催

今年度も、音楽を通して「大阪から世界へ、世界から大阪へ」つなぐ祭典として、市民の皆様に気軽に楽しんでいただけるクラシック音楽の祭典を開催してまいります。

今年度は、とくに日韓国交正常化50周年を記念して、韓国のアーティストを招聘し、韓国との友好交流の一環としてまいります。

(7) 中之島 ^{いまむかし}案内（周辺散策マップ）英語版の発刊

年々増加する訪日外国人に、わかりやすく大阪の街（中之島周辺）を俯瞰して案内をする、英語版の中之島今昔案内を発刊してまいります。この中では、美術館や博物館、音楽ホール等の文化施設とともに、和食のレストラン（文化）の案内を掲載し、文化の香る大阪の街に親しんでもらえるようにしてまいります。

発行部数は5万部を予定。

(8) その他の事業

当フォーラムとの協力関係にある機関が実施する、大阪の国際化や国際交流に資する個々の事業について、企画段階から参画し広く周知し、また後援事業とするなど、当該事業の推進に協力してまいります。